

# 「内耳神経性疾患についての検討」へのご協力をお願い

－1980年4月1日から2025年3月31日までに当科において内耳神経性疾患の治療を受けられた方へ－

研究機関名 姫路赤十字病院耳鼻咽喉科

責任研究者 姫路赤十字病院 耳鼻咽喉科 部長 橘 智靖

分担研究者 姫路赤十字病院 耳鼻咽喉科 医師 小松原 靖聡、黒田 一範、直井 勇人

## 1. 研究の意義と目的

内耳は聞こえに関する聴覚機能と、平衡感覚に関する前庭機能を司る重要な感覚器官です。聴覚機能が低下することにより難聴を発症し、前庭機能が低下することによりめまいが発症されますが、それらの疾患については、発症の仕組みがはっきりしていない部分が多いです。また治療法も確立したものがなく、現在も効果的な治療について議論されています。本研究は病気の成因、治療の内容、予後因子（予後因子とは病気が治療後どのような経過をたどるのかを予測し、見通しを立て適切な治療方法を選択するための判断材料のことをいいます。）を検討し、今後の治療に還元し患者さまの利益に貢献することが目的です。

## 2. 研究の方法

### 1) 研究対象：

姫路赤十字病院の耳鼻咽喉・頭頸部外科で診療を行っている内耳神経性疾患の患者さま

### 2) 調査期間：

1980年1月1日から2025年3月31日まで

### 3) 研究方法：

- ・ 1980年1月1日から2025年3月31日までの間に当院において中・内耳炎症性疾患と診断され治療を受けられた患者さまで、研究者が診療情報をもとにデータを選び解析し、検査や治療で得られた検査結果を用いて疾患の成因、治療効果、予後因子を調べます。

### 4) 調査票等：

研究資料にはカルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、あなたの個人情報は削除し匿名化し、個人情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

- ・ 年齢、性別、家族歴、既往歴
- ・ 診察所見、治療内容、血液検査や各種画像検査（X線、CT、MRI、PET/CT、超音波検査など）、手術記録、病理検査、聴力検査などの検査データ
- ・ 検査や手術で摘出した組織

### 5) 情報の保護：

調査情報は姫路赤十字病院耳鼻咽喉科内で厳重に取り扱います。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピュータに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。

調査結果は個人を特定できない形で関連の学会および論文にて発表する予定です。

この研究にご質問等がありましたら下記までお問い合わせ下さい。御自身や御家族の情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2025年3月までの

間に下記の連絡先までお申出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様の不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

姫路赤十字病院 耳鼻咽喉科

氏名：橘 智靖、小松原 靖聡、黒田 一範、直井 勇人

電話：079-294-2251 ファックス：079-296-4050